

# 「どんどん輝く鹿児島」観光戦略

本県観光への追い風を更に加速していくため、オール鹿児島で、昨年以上のイベントやより効果的なプロモーションを実施するなど戦略的な取組を展開し、本県の基幹産業である観光産業の振興を図る

## 国内外からの誘客対策

### 国内

#### (1) 官民連携した積極的なイベント開催による誘客促進

- ▶ 第40回霧島国際音楽祭やインターハイなどのイベントを核とした誘客促進
- ▶ J2に昇格した鹿児島ユナイテッドFCなどプロスポーツへの支援による交流人口の増加

#### (2) ターゲットを明確にした効果的なPR

- ・観光客の属性に応じた効果的な情報発信
  - ▶ 平成30年に実施したマーケティング調査に基づき、観光客の世代や性別だけでなく、趣味や関心事などの違いに応じて情報発信
  - ▶ 郷土料理、酒蔵めぐり、里めぐり、温泉めぐり、島旅などのテーマ別観光ルートの提案

#### (3) 増加する個人客対策の強化

- ・SNSによる情報発信の強化
  - ▶ Twitter, Facebook, インスタグラムなどの特性を生かした情報発信の強化
- ・多様化する個人客のニーズに対応するコンテンツ（映画、アニメ等）を活用した誘客促進
  - ▶ 「かぞくいろ」「きばいやんせ！私」など本県が舞台の映画を活用した誘客促進
  - ▶ アニメと霧島温泉のコラボ企画の実施
  - ▶ 長期滞在等に資する体験型（アクティビティ）観光の提案

#### (4) 交通キャリアとの連携による積極的なPR

- ・県外からの送客手段を持つ交通キャリア等と連携したプロモーションの実施
  - ▶ JR博多駅構内ジャック広告の実施など、JR九州と連携した北部九州からの誘客キャンペーンの実施
  - ▶ 関西圏をターゲットに、JR西日本と連携した「春の鹿児島」キャンペーンの実施やさんふらわあと連携した観光PR等の実施
  - ▶ ANA・JAL等の航空会社の機内誌等による観光PRの実施

#### (5) 南九州3県による連携

- ・JRグループ「DESTINATIONキャンペーン」や大河ドラマ「いだてん」、インターハイ開催等と連携した南九州広域周遊ルートの造成・提案
- ・JR西日本等と連携した関西地区からの教育旅行の誘致活動

### 海外

#### (1) 直行便市場での誘客対策の強化（香港、台湾、韓国、中国）

- ・大手旅行会社に対する旅行商品の造成促進、SNS等による情報発信
  - ▶ 注目度の高いSNS等を活用したFIT向け情報発信の強化
  - ▶ 鹿児島空港国際線ターミナルの増改築

#### (2) 戦略的市場での認知度向上（タイ、シンガポール、ベトナム等）

- ・現地で開催される旅行博への出展、現地旅行会社の招請等による旅行商品造成
  - ▶ タイ、シンガポール等で開催される旅行博出展によるPR
- ・チャーター便の誘致促進

#### (3) 欧米豪市場への広域連携によるアプローチ（欧は主に英国、フランス等）

- ・H31.9から開催されるラグビーワールドカップへ向け、九州観光推進機構・九州各県と連携した九州観光地情報の広報・PR
  - ▶ 英国観光プロモーションでの観光関係者に対する誘致活動
  - ▶ ラグビーワールドカップを生かした本県周遊ルートの造成・提案
  - ▶ 南アフリカ代表チームの事前キャンプに対する支援・広報
- ・東京都と連携した本県への海外メディア招請や海外旅行雑誌等への情報発信

#### (4) 海外サポーター等を活用したPR

- ・在外県人会会長とのホットラインを活用した観光スポットやイベントの情報発信
- ・東南アジア等6ヶ国・地域に設置した海外ビジネスパートナー等によるメディア、SNSを通じた情報発信
- ・長期滞在等に資する体験型（アクティビティ）観光の提案

#### (5) クルーズツアーの誘致・高質化

- ・クルーズ船社等に対する本県の豊かな自然や温泉、食、歴史・文化の積極的なPR
  - ▶ 屋久島や奄美群島を結ぶ世界遺産クルーズの提案
  - ▶ 国内外の商談会への参加や船社の招請などによるセールス活動
- ・マリンポートかごしまにおけるクルーズ船の受入環境の整備
  - ▶ 新たに整備する浮桟橋を活用した本港区や指宿、大隅地域など新たな観光周遊ルートの開拓

平成31年目標

延べ宿泊者数9,500千人、観光消費額3,600億円 ※県観光振興基本方針